

京都大学総合博物館 平成24年度特別展

京大日食展

コロナ百万度を超えて

*Solar Eclipse Exhibition in Kyoto University
beyond the million Kelvin temperature of Corona*

2012年4月25日〔水〕—5月20日〔日〕

9時30分～16時30分（入館は16時まで）

◎休館日：月曜日・火曜日（平日・祝日にかかわらず）

◎観覧料：一般 400円 / 高校生・大学生 300円 / 小学生・中学生 200円
※20名以上の場合は団体観覧料が適用されます。 ※70歳以上の方：身体障害者手帳をお持ちの方は無料

主催：京都大学総合博物館、京都大学大学院理学研究科附属天文台

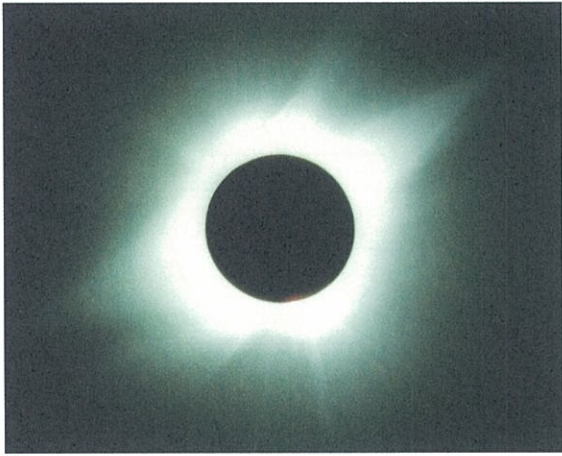
共催：京都府教育委員会、京都市教育委員会、NPO法人花山屋ネットワーク、京都大学宇宙総合学研究所、京都大学研究推進センター、協賛：公益財団法人福慶財団、映画・天体明察観望委員会、株式会社西村製作所、誠文堂新光社（月刊天ガキ）、大阪市立科学館 後援：NHK京都放送局、三友京都、KBS京都 協力：吉田会館（順不同）

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL:075-753-3272
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

2012年5月21日（月） 金環日食観望会・講演会

MUSEUM
THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM



1



2



3

Solar Eclipse Exhibition in Kyoto University beyond the million Kelvin temperature of Corona

京都大学総合博物館 平成24年度特別展

京大日食展 コロナ百万度を超えて

2012年5月21日の朝、282年ぶりの規模で金環日食帯が日本

列島を縦断、京都でも観測できる。この「大天文イベント」にちなみ、

日食について、伝説から最先端の科学まで、5つのテーマで京大日食展を開催。

古代日食——1300年前に太安万侶が編纂した「古事記」の天の岩屋戸

日食説、ヒミコの日食、平氏を勝利に導いた水島合戦の金環日食など、日食に

まつわる古代の神話や史実を紹介。

日食・月食を的中させてその正確さを示した。渋川春海の業績を中心に江戸

時代の天文・暦学を紹介。春海が主人公の映画「天地明察」の撮影に使われた

観測装置レプリカも展示。

京大日食観測隊——京都大学は、世界各地に皆既日食観測隊を送り出し、

そのときだけしか得られない貴重なデータを収集・解析し、太陽物理学に

国際的貢献をしてきた。日食観測隊の栄光と、ときには失敗した歴史を、

京都大学研究資源アーカイブの貴重な映像資料も交えて紹介。

現代の太陽観測——飛騨天文台の望遠鏡や「ひので」などの人工衛星による

観測によって生まれた太陽物理学研究や、宇宙天気予報、宇宙太陽光発電

など、世界をリードする京大の基礎から応用分野にわたる太陽研究を紹介。

京にゆかりの宇宙科学者たち——太陽や宇宙の神秘に果敢に挑戦した偉大

な科学者たちにも京都賞が贈られている。この特別展では太陽風を理論的に

予知したユージン・パーカー博士を紹介。

1941年、宮本正太郎(後に京都大学花山天文台第三代台長)は、太陽コロナの温度が

100万〜200万度だと世界で初めて突き止めた。この日食展をきっかけに、観測者諸君が

宮本正太郎を超える発見を生むことを期待し、「コロナ百万度を超えて」という副題をつけた。

◎関連企画

「金環日食観察会と講演会」

実施日 2012年5月21日(月)

観察会 7時〜8時30分 ※受付開始6時30分

講演会 9時30分〜11時30分

場所 京都大学農学部グラウンド(北部構内)

場所 京都大学百周年時計台記念館

※詳しくは京都大学総合博物館ホームページ

http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/をご覧ください。

「4次元デジタル宇宙シアター」

3D映像の宇宙の中をナビゲーターと共に旅します。

2012年の金環日食や太陽に触れ、太陽系を飛び

出して宇宙の地平線まで、ライブ解説と案内します。

※開催日・時間は京都大学総合博物館ホームページ

http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/をご覧ください。



4

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL (075) 753-3272 FAX (075) 753-3277
http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/

【交通機関】

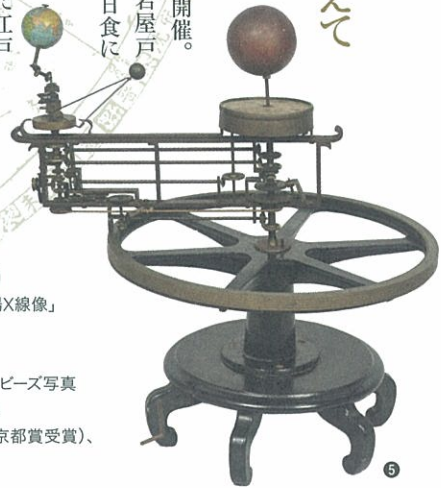
●市バス JR/近鉄京都駅から17・206系統、阪急河原町駅から3・17・31・201系統、地下鉄烏丸線今出川駅から201・203系統、地下鉄東西線東山駅から31・201・206系統、「百万遍(ひゃくまんべん)」下車徒歩約2分

●京阪「出町柳(でまちやなぎ)」駅下車徒歩約15分
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



【図版キャプション】

- 1991年メキシコ日食で撮影されたコロナカラー写真
- 映画撮影に使用された大渾天儀(映画「天地明察」製作委員会蔵)
- 中国南宋時代に製作された天文図石碑の拓本(部分、山本天文台蔵)
- 4次元デジタル宇宙シアターにおける「太陽X線像」
- 精密三球儀(山本天文台資料室蔵)
- 2002年テニアン島金環日食において福島英雄氏らによって撮影されたベイリービーズ写真
- ペルー日食での山本一清博士の映画観測
- 太陽コロナを示すパーカー博士(2003年京都賞受賞)、シカゴ大学天文学教室にて、1977年



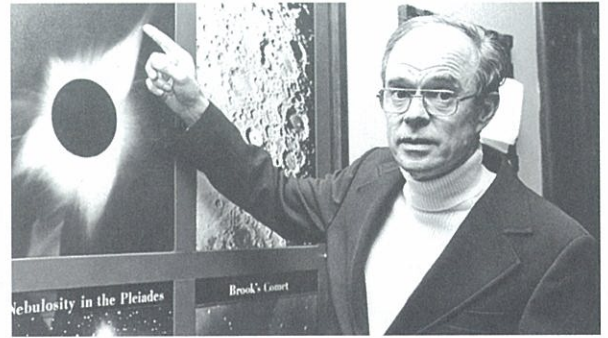
5



6



7



8